

令和7年度 授業計画書（シラバス）

分野	専門分野			開講時期	3年後期	
授業科目名	小児看護学			単位数	1単位	
	小児看護学方法論Ⅲ			時間数	15時間	
講師名	熊谷 瞳	所属	岩手県立一関高等看護学院		資格・免許	看護師免許 保健師免許
		職名	専任教員			
事前学習内容						
Ⅰ型糖尿病・川崎病・気管支喘息の病態生理、看護を学習しておく						
科目全体のねらい						
事例を通して、子どもの看護を展開する臨床判断能力を高める						
教育目標との関連						
(3) 人間を、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルに統合された存在として理解することができる。						
(4) 対象を、どのような健康状態であっても、社会で生活している人と捉えることができる。						
(5) 看護師としての責務を自覚し、高い倫理観をもって看護を実践することができる。						
(6) 科学的根拠に基づき、健康状態や生活の場に応じた看護を実践することができる。						
(7) 社会の特性を理解し、保健・医療・福祉チームの中で、多職種と連携・協働し、対象が希望する地域で、その人らしく、より良く生きることを支援できる。						
科目目標						
シミュレーター等で子どもの状態を判断し、適切な看護を実践する						
回	授業内容				方法	
1	Ⅰ型糖尿病の子どものケア①				演習	
2	Ⅰ型糖尿病の子どものケア②				演習	
3	川崎病の子どものケア①				演習	
4	川崎病の子どものケア②				演習	
5	川崎病の子どものケア③				演習	
6	気管支喘息のある子どものケア①				演習	
7	気管支喘息のある子どものケア②				演習	
8(45分)	気管支喘息のある子どものケア③				演習	
受講上の注意				評価方法 課題への取り組み状況(50点)、 最終レポート(50点)		
使用するテキスト 小児看護学概論 小児臨床看護総論、 小児臨床看護学各論 (医学書院)						
参考文献 小児看護学 子どもと家族の示す行動への判断とケア 第8版(日総研) 発達段階を考えたアセスメントにもとづく 小児看護過程 第2版(医歯薬出版株式会社) 写真でわかる 小児看護技術アドバンス(インターメディカ)						

\*病院での実務経験を有する教員が、その経験を活かして講義する